

コース名	利益を生み出す業務改革・トラック運送業 —業務を見直し、荷主に選ばれる企業へ—			
研修のねらい	トラック運送業においては、車両運行と荷役等の人によるサービス供与のウエイトが高いこと、膨大な取引情報への関与も必要という事業特性もあって、業務改善に対する取り組みを常に求められています。特に、運行管理や荷主向け輸送サービス等の効率化やコスト問題への対応は喫緊の課題となっています。 本研修では、トラック運送業が直面する以上のような経営環境・課題を踏まえたうえで、コスト・収益の見直しやIT活用等による業務改革の進め方について学ぶとともに、さらにはその成果を自社の業務プロセス等の改革の中に取り込んだ計画の策定を行います。			
研修の特長	・自社における業務改善について実践的に取り組みます。 ・インターバル研修で、前半に学んだ知識を踏まえて効率的に業務改善計画が策定できます。 ◆関連コースのご案内 No.5「成功するための経営戦略の策定とその実践」2018年8月7日(火)～9日(木)〈3日間〉 No.13「社内を活性化するIT活用」2019年2月27日(水)～28日(木)〈2日間〉			
注意事項	・インターバル期間に「業務改善計画の検討及び策定」の課題があります。			
研修期間	2019年1月22日(火)～2月20日(水)〈4日間〉 (詳細) 第1期 2019年1月22日(火)～1月23日(水) 第2期 2019年2月19日(火)～2月20日(水)			
受講対象者	経営幹部・管理者 ・トラック運送業の方 ・自社の業務改革に取り組もうとしている方 ・改善計画を作成と実践の仕方を知りたい方	定員	25名	受講料 35,000円

月日	時間	科目	内容	講師
1月22日(火)	9時20分～9時40分	オリエンテーション		当校職員
	9時40分～12時40分	トラック運送業における事業・業務改革の考え方	・トラック運送業の現状と課題 ・未来の流通サービスとICT技術 ・請負運送業から顧客価値創造業への変革 ・荷主コスト削減と運送収益向上の両立 ・トラック運送業の原価計算 —時間重視型の原価計算への変革— —顧客別・運行別の収益分析—	久保田 精一 合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所
	13時40分～16時40分			
1月23日(水)	9時20分～12時20分	トラック運送業における事業・業務改革の進め方①	・事業・業務改革の目標設定 ・改革を評価するためのKPI(重要業績評価指標)の活用 ・トラック運送業の効率性評価の視点とKPI設定方法 ・IT活用による情報共有化 ・KPIによる業務改革事例① ・ITを活用した業務改革事例① ・自社の事業・業務改革の計画立案	
	13時20分～16時20分			
インターバル課題「業務改善計画の検討及び策定」 自社の運行管理・輸送サービスの棚卸しに取り組みます。				
2月19日(火)	9時20分～12時20分	業務改革の計画策定と定着策(演習)	・自社の生産性改善計画の発表と討議 —目標設定について— —KPIの選択について— —実行計画について—	久保田 精一(前掲)
	13時20分～16時20分			
2月20日(水)	9時20分～12時20分	トラック運送業における事業・業務改革の進め方②	・社内の改革意識醸成と体制づくり ・改革を推進するためのPDCAサイクル ・改革のための人材育成 ・荷主と連携した改革の推進 —荷主と連携することで改革効果を向上— —KPIによる業務改革事例②— —ITを活用した業務改革事例②—	
	13時20分～16時20分			
	16時20分～16時30分	修了証書の授与		当校職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。※研修初日の16時50分頃から交流会を開催する予定です。

講師氏名	略歴
久保田 精一 (くぼた せいいち) 合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所	(財)日本システム開発研究所、(公社)日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所にて物流分野の調査研究・コンサルティングに従事。荷主および物流事業者に対する物流コスト管理導入の支援、物流KPIの導入支援や国・地方自治体の調査研究を実施。日本物流学会会員、運行管理者(貨物)、城西大学 非常勤講師。

30年度コース別受講申込書

FAX 042-590-2685

★この申込書は当校で受領後、受講者情報右欄の受付状況を記載して、折り返しFAXします。必ずご確認ください。

中小企業大学校 東京校長 あて

年 月 日

フリガナ			代表者役職			
会社名			代表者氏名			
所在地	〒 都 道 府 県					
TEL			FAX			
主要取扱品目			資本金	万円	従業員数	人
業種 <small>該当区分に○印をつけてください</small>	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 ()	業種分類 <small>製造業の方は該当区分に○印をつけてください</small>	9.食品 10.飲料 11.繊維 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30.情報通信機械 31.輸送用機械 32.その他製造業			
研修を知ったきっかけ	1.ダイレクトメール 2.研修ガイド 3.ホームページ 4.受講者の紹介 5.商工団体等 6.金融機関 7.新聞・雑誌・テレビ・ラジオ 9.県市等の機関紙 10.展示会等 11.その他()				メールマガジンの送信可否	可 ・ 不可
					人材育成計画作成への関心	ある ・ ない
連絡担当者	フリガナ			部署		
	氏名			役職	担当者 E-mail	

コースNo.	No. 8	コース名	利益を生み出す業務改革・トラック運送業
--------	-------	------	---------------------

受講者情報①	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況①	受講できます	
	氏名				男 女		役職			「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。	
	受講者 E-mail		該当区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補					キャンセル待ち	
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。										
	入寮の有無	→	入寮日		~	退寮日		番です			
入寮する 入寮しない	入寮する場合	研修開始日の前日	研修開始日		研修終了日	研修終了日の翌日	キャンセルが発生次第、ご連絡します。				

受講者情報②	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況②	受講できます	
	氏名				男 女		役職			「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。	
	受講者 E-mail		該当区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補					キャンセル待ち	
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。										
	入寮の有無	→	入寮日		~	退寮日		番です			
入寮する 入寮しない	入寮する場合	研修開始日の前日	研修開始日		研修終了日	研修終了日の翌日	キャンセルが発生次第、ご連絡します。				

- 1) 入寮希望の有無・入退寮日は、受講者本人に確認をお願いします。なお、入寮時の部屋割りをご希望に添えない場合があります。
- 2) より多くの方が受講できるように、原則として1コースあたり1社2名様までのお申し込みといたします(一部コースを除く)。2名様をこえる場合はキャンセル待ちとなります。ご理解くださいますようお願い申し上げます。
- 3) 「経営後継者研修」「経営管理者研修」の申込書は、別様式です。専用パンフレットをご請求ください。

個人情報保護について	個人情報保護法に定義される個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用します。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものとします。
------------	---

大学校使用欄

--